

# 平成 26 年度「いい歯東京」達成度調査結果の訂正について

平成 27 年 11 月 1 日

平成 26 年度かかりつけ歯科医機能推進に関するアンケート調査結果につきまして、次のとおり、訂正いたします。

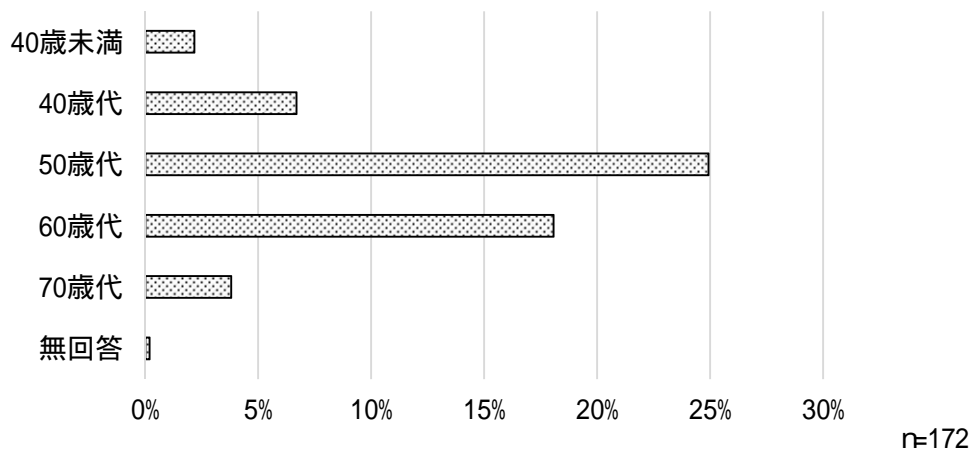
P170 第 4 章 -2- (7)ウ

【誤】

## ウ 在宅療養者の摂食・嚥下障害への対応が可能

摂食・嚥下障害への対応及び訪問歯科診療の両方に可能と回答した者を算出したところ、個別には 60 歳代が最も多かったが、在宅療養者の摂食・嚥下障害への対応となると 50 歳代が最も多い結果となった。

図 21 在宅療養者の摂食・嚥下障害への対応可能 (年代別割合)

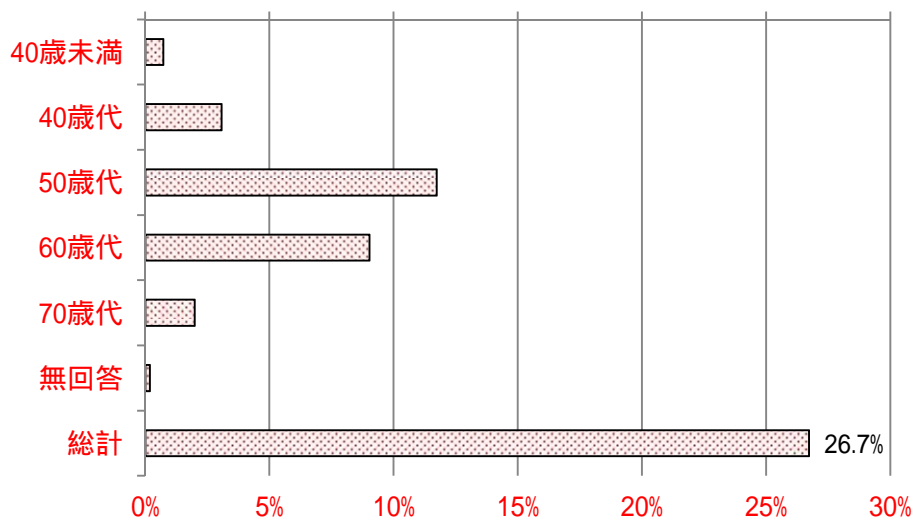


【正】

## ウ 在宅療養者の摂食・嚥下障害への対応が可能

摂食・嚥下障害への対応及び訪問歯科診療の両方に可能と回答した者を算出したところ、**前回 (平成 21 年度) 22.0%より増加していた (26.7%)**。個別には 60 歳代が最も多かったが、在宅療養者の摂食・嚥下障害への対応となると 50 歳代が最も多い結果となった。

図 21 在宅療養者の摂食・嚥下障害への対応可能 (年代別割合)



r=554